vol.37

2018年11月

Link つながる
Live 生きる
Learn 学ぶ
Labour 労働
Liberty 自由



宝塚市立男女共同参画センター・エルは、すべての人が個人として、性にとらわれず、自分らしくいきいきと 充実した生活を送ることができる「男女共同参画社会」の実現を目指すための施策推進の拠点施設です。 センターの愛称"エル"は上記の5つのLの頭文字をとったもので、市民からの公募で決定しました。



#### ■宝塚市立男女共同参画センター

巻頭エッセイ「有馬稲子 語るエッセイ」・・・・・・・・・・・・・・	1
寄稿「男女共同参画の視点で考える防災とは?!」・・・・・・・・・・・・	2
防災に女性の視点を!・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
講座案内(2018年 12月~2019年3月)・・・・・・・・・・・・・・・	6
センターのご案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8

# 有馬稲子・語るエッセイ

・ 宝塚市の男女共同参画社会づくりを推進する周年 事業である今年度の「宝塚市男女共同参画プラン推 進フォーラム」に有馬稲子さんをお招きした。

宝塚市は「宝塚歌劇」というブランドがあるため もあって、国内外ともに知名度が高い。その宝塚歌 劇に所縁があり、現在も現役で、生き方にパワーを 感じていた有馬稲子さんに候補を絞った。

有馬さんは池田生まれの元タカラジェンヌ。宝塚音楽学校を卒業すると同時に36期生の宝塚歌劇団に入団し主役娘役を務めるなどの後に東宝映画にデビューしてからも映画、テレビ、舞台と活躍の場を広げた。

当日の講演では、有馬さんが生き方に共感をもったという良寛と貞心尼をオリジナルの脚本にしての



朗読にご自身の半生も合わせて エッセイ風に語ってくれた。

後半のインタビューで、60年 以上にわたり出演した映画の中 で特に好きな映画はと訊くと、 「東京暮色(1957年)」「夜の鼓(1958年)」 「浪速の恋の物語(1959年)」の3本を上げられた。

また現在の生活環境は、60代に「終の棲家」として決めたケア付きマンションで、約400世帯ある住人と生活を共にし、ガーデニングを趣味にされていると言う。

今後の抱負と訊くと、「あとは死ぬだけ」としながらも「生きている限りは勉強したい」ときっぱりおっしゃる。

舞台袖で講演時間を待ちながら、「毎回、緊張するのよ」と言って深呼吸を何度もされていたのが印象深かった。

有馬稲子さんは、現在86歳。現役の大女優、予想通りのハンサムな(handsome=堂々とした見事な)人であった。

NPO 法人 女性と子どものエンパワメント関西 理事長 田上時子

# 男女共同参画の視点で考える防災とは?!

### ジェンダー視点のある防災、減災の取り組みや対策の必要性について

### ▲ 災害時要援護者支援の必要性

近年、多発する災害に伴い、災害時における要援護者支援が注目されるようになってきました。これは発災直後の救出・救助及び安否確認、避難誘導支援(直接死対策)や避難生活期以降の支援体制(災害関連死対策)の構築が過去の災害教訓を踏まえて、喫緊の課題と認識されてきたからです。では、災害時要援護者とははたしてどのような人を指すのでしょうか。宝塚市の場合は、災害時要援護者を以下のように定義しています。

在宅で生活している方で次のいずれかに該当する方のうち、一人暮らしなどの理由で災害時に家族等の支援を受けることが困難であり、特に避難行動等に支援が必要な方

- 1. 身体障がい者手帳 1 級または 2 級を所持する方
- 2. 療育手帳を所持する方
- 3. 1級の精神障がい者保健福祉手帳を所持する方
- 4. 介護保険制度による要介護状態区分が要介護3、要介護4、要介護5と認定された方
- 5. 概ね65歳以上の一人暮らしの方で、かつ、災害時に自力避難に不安を抱く方
- 6. 生命維持に必要な医療ケアが必要と認めた方(人口透析を受けている方等) 等

また、2011年に発生した東日本大震災の教訓をうけて、国は災害対策基本法を改正し、高齢者、障がい者、乳幼児等の防災施策において特に配慮を要する人のうち、災害発生時の避難等に特に支援を要する人の名簿(避難行動要支援者名簿)の作成を義務付けること等が規定されました。宝塚市においては、阪神・淡路大震災の経験から災害時要援護者支援の必要性は以前から認識されており、災害時要援護者支援制度が他市に先駆けて進められています。

# 男女共同参画の視点からみた災害被害の状況

ここでいう「男女」とは便宜上、使用する言葉であり、実際の災害現場では性的マイノリティの人々も確実に存在していることを前提に、災害時にどのような被害の傾向が見受けられるのかを解説していきたいと思います。

まず、死亡者の傾向ですが、1995年に発生した阪神・淡路大震災の男女別・年齢階層別死者数ですが、 兵庫県の死者数について、女性は男性に比べ約1,000 人多く、約1.4倍であったことが判っています。また、 東日本大震災でも、女性が男性より1,000人程度多 く、高齢者で男女の差が大きくなっています。一般的 に地震の場合は倒壊の圧死等により力の弱い女性が犠牲になることが多く、風水害の場合は役割を担っている男性が河川の状況を確認に行った際に被害に遭うことが多いと言われています。ちなみに避難生活期以降で亡くなる災害関連死をみた時、東日本大震災では実に3,000人以上の方が亡くなっていますが、その9割が66歳以上の高齢者でした。 これは2016年の熊本地震でも同様(8割が70歳以上の高齢者)の傾向を示しました。

また、私は講演等で大規模災害が起きた場合、被災地で増加傾向にある症状をいくつか紹介しています。例を挙げるとアルコール依存症、うつ・不眠傾向、認知症、脳卒中等です。東日本大震災後に飲酒量が増加した人の割合をみた時、岩手県陸前高田市や宮城県石巻市では、女性が3%台であるのに対し、男性は約7~12%と高くなっています。一方、東日本大震災後の睡眠に関する状態の調査では、震災後、睡眠障害が強く疑われる人は、陸前高田市では、女性44.4%、男性27.7%、石巻市では、女性50.2%、男性32.4%となっており、こちらは女性に増加傾向が見られます。

あわせて、東日本大震災直後からの避難所での生活において困っていることを調査した結果、女性は「シャワーや入浴があまり出来ない」「プライバシーが確保されていない」「トイレの数が少ない」の割合が男性に比べて高くなっていることが判りました。

#### 後藤至功さん

佛教大学 福祉教育開発センター専任講師。NPO法人さくらネット理事。専門は地域福祉、災害福祉論。 共著「災害ボランティア入門」(ミネルヴァ書房)、共著「支援のための制度と法のあり方とは」(批評社)など。 宝塚市出身、阪神・淡路大震災では全壊被災し、それ以降、災害支援業務に関わる。



以下、東日本大震災時に女性が抱えた困難な例をご紹介します。

- ●市の窓口に女の人は滅多にいなかった。男性が配ったり、周りに男性がたくさんいる中で支援物資の生理用品を受け取りに行くのが恥ずかしかった (10代女性)
- ●DVで離婚調停中の 夫が避難所に探しに来 て、気持ちが落ち着かな かった。
- ●避難所で、夜になると男の人が毛布の中に入ってくる…。 周りの女性も「若いから仕方ないね」と見て見ぬふりをして助けてくれない (20代女性)

- ●避難所の威圧的な空気の中で、女性や立場の弱い人々が要望を出したり、発言するのは難しい。
- ●物資をもらうにも、小さな子どもたちを抱えていかなければならず、大変だった(シングルマザー)
- ●車と仕事を流された。失業保険は延長されたが、もともとの給料が低いので暮らしていけなかった。女性には仕事が無かった。がれき処理は男性向けだった(シングルマザー)

その他、熊本地震において、熊本県と熊本市の共同実施による調査では、ひとり親家庭の中でも非正規雇用者(特に母子家庭)の経済再建が遅れているといった実態が浮かび上がっています。

### 男女共同参画の視点で考える防災とは

災害対策を進める上で、避難所における女性や弱い立場におかれがちな人々が少しでも快適な避難所生活をおくることができるようになるためにはどのような対策が必要なのでしょうか。私は男女共同参画の視点から次の 4点を挙げたいと思います。

#### ①可視化と安全な場の確保

昨今の避難所運営等を拝見すると、しばしば「女性と子どもは一人でトイレにいかないで」といった貼り紙を目にすることがあります。これは避難所内に設置されたトイレに夜間、女性や子どもが一人でトイレに行った際にその途上で強姦や性犯罪に巻き込まれるケースが散見されるからです。力の弱いとされる立場の人の安全をどう守るか、また当事者自身もそのことをどう考えて対策に関わっていくかが重要であると思います。また、避難所生活が落ち着いてくると、仕切り板が導入されてきますが、発災当初はそういった対策が難しい状況にあります。できれば混乱の最中で、潜在化しやすい存在や課題を可視化していく努力や避難所設営の際に男女更衣室や授乳室を設置するなどの配慮は可能な限り検討していただきたいと思います。

#### ②決定の場への参画

「防災に関する意思決定の場への関わりにおける男女の比率」を調べた結果(内閣府・2015年)、市区町村防災会議の委員に占める男性の割合は92.3%であり、女性の割合はわずか7.7%でした。実際、地域における防災活動の担い手として多くの女性が関与しておられますが、防災活動・対策においては男性中心型で女性の意見が反映されにくい構造となっています。 宝塚市も審議会等についてクオータ制を採用していますが、女性委員の割合は目標とする40%~60%には達していません。社会の半分を構成する女性や弱い立場の人たちがこうした合意形成の場に積極的に登用されることこそが排除を軽減し、多様性を担保する仕組みであることを今一度、認識することが重要です。

# 男女共同参画の視点で考える防災とは?!

### ジェンダー視点のある防災、減災の取り組みや対策の必要性について

#### ③計画・マニュアル化

国は 2013 年に「男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針」を策定しました。また、防災基本計画や男女参画基本計画に男女共同参画の視点を取り入れた防災対策の必要性について明記がされました。全国的に災害対策を進めるために地域防災計画の見直しや地区防災計画やDCP(地域における事業継続計画)の策定が取り組まれるようになってきましたが、是非、「男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針」を活用し、各々の計画、マニュアルの基本方針に組み入れていただきたいと思います。

#### ④男女共同参画の視点を活かした ユニバーサルな避難所づくり

現在の社会のキーワードとなっている「多様性」は、災害対策においても然りで、この視点を外して 災害対策はあり得ません。私は常日頃から、「男性、 女性、その他の性自認・性的指向をもたれた人々や 社会的に立場の弱い状況にある人々の声を反映さ せることがユニバーサルな避難所(誰もに対応が可 能な避難所)になる」と説明しています。合理的な 配慮と多様性を基調とした人権感覚が、結果的には 災害関連死を抑止し、災害時においても人としての 尊厳を保障される災害対策になることを確信して います。

#### 引用•参考文献

- 内閣府「平成24年度版男女共同参画白書」
- •「東日本大震災における支援活動の経験に関する調査」 東日本大震災女性支援ネットワーク調査チーム
- 「聞き取り集: 40人の女性たちが語る東日本大震災」 イコールネット仙台
- •「東日本大震災;被災地の若年女性調査と提言 Tohoku Girls' Voices」 オックスファム・ジャパン
- 内閣府「男女共同参画の視点による平成28年熊本地震対応状況調査」

#### 男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針(平成25年5月 内閣府 男女共同参画局)

<基本的な考え方>

- 1 平常時からの男女共同参画の推進が防災・復興の基盤となる
- 2 「主体的な担い手」として女性を位置づける
- 3 災害から受ける影響の男女の違い等に配慮する
- 4 男女の人権を尊重して安全・安心を確保する
- 5 民間と行政の協働により男女共同参画を推進する
- 6 男女共同参画センターや男女共同参画担当部局の役割を位置づける
- 7 災害時要援護者への対応との連携に留意する

防災基本計画/男女共同参画基本計画

防災基本計画(平成28年2月中央防災会議決定)

第1編 第3章 防災をめぐる社会構造の変化と対応

地域における生活者の多様な視点を反映した防災対策の実施により地域の防災力向上を図るため、地方防災会議の委員への任命など、防災に関する政策・方針決定過程及ひ防災の現場における女性や高齢者、障害者なとど参画を拡大し、 男女共同参画その他の多様な視点を取り入れた防災体制を確立する必要かある。

第4次男女共同参画基本計画(平成27年12月25日閣議決定)

第 11 分野 男女共同参画の視点に立った防災・復興体制の確立

1 防災分野における女性の参画拡大など男女共同参画の推進

地域における生活者の多様な視点を反映した防災対策の実施により地域の防災力向上を図るため、防災(予防、応急、復旧・復興のそれぞれの段階を含む)に関する政策・方針決定過程及ひ防災の現場における女性の参画を拡大し、男女共同参画の視点を取り入れた防災体制を確立する。

# 防災に女性の視点を!

## ~檜垣彰子さんの活動~

檜垣彰子さんは、PTA 活動をきっかけに自治会、コミュニティ活動、人権啓発推進委員会など多岐にわたり地域で活動されており、また宝塚市人権ファシリテーターとしても学校などに出向き、保護者や地域の人たちを対象にワークショップなどをされています。数年前に参加した市民講座の修了生数名で「女性の視点で防災を考える 宝塚どないしょネット」を結成し、「たからづか発 わたしの防災カ UP ガイド」を作成されました。

#### ●知ってほしい!避難所での性暴力・性被害のこと、災害時の性的マイノリティのこと

幼稚園や学校で保護者の方に防災の講演やワークショップをすることがありますが、災害時には、特に避難所で女性や子どもに対する性暴力・DVや性被害が増加することや、性的マイノリティの人々にも配慮が必要であることを、具体的な事例をあげてお話しています。避難所での性暴力については初めて聞くという方が多く、それが女性だけでなく男女の子どもや高齢者に対してもあったことだと話すと、保護者も地域の方も少なからずショックを受けられます。ワークショップでは避難所の場面を想定し、立場の弱い人々や声をあげにくい人々にはどんな配慮が必要なのかをみんなで考えることで、それが自分たちの身近な問題であることに気づいて欲しいと思っています。



檜垣彰子さん

#### ●地域の中で女性が声をあげる!

自治会など地域で女性が声を上げていくことが大切です。私は地域の集まりに参加した時、できるだけ自分の言葉で疑問を投げかけたり発言したりしています。宝塚市は他の自治体に比べ女性の地域リーダーが多い方ですが、まだまだ男性中心です。昨年度防災士の資格を取得しましたので、そこでの学びや立場で発言することもあります。大きな災害が起きたとき、避難所の運営方針を決める意思決定機関に女性が参画し、正しい知識や情報を得ながら避難所運営ができれば良いと思っています。それが復旧復興への早くて大きな第一歩になると思っています。

# 図書の紹介

災害を他人事ではなく自分事として考える、特に被災体験のない人が想像力をもって防災の意識をもつためには、小説や映画がいいきっかけになるのではないでしょうか。 あえて防災のハウトゥものではない本を選んでみました。



#### ●避難所 垣谷美雨/新潮社(2014/12)

垣谷美雨さんの著書は、高齢化や介護・結婚などの社会問題を、時にはコミカルに時には爽快に描き、多くの女性たちから共感を呼んでいますが、本作品は東日本大震災での避難所を舞台に、3人の被災した女性たちを取り巻く人間模様が描かれています。プライバシーのない避難所での生活、性暴力の起こりうる危険な環境、田舎特有の男尊女卑の考え方…。特に乳飲み子を抱え震災でシングルマザーとなった女性が小身ともに追い詰められていく様子には、怒りと共にやりきれない思い

がします。「ありえない」と思われるような男性の行いや言動の数々ですが、綿密な取材に基づいていて、実際には もっと過酷な状況で女性は我慢を強いられていたのだろうと想像できます。フィクションとは言え、3人の女性た ちが自分たちの居場所を求めて力強く生き抜いていく姿にはエールを送りたくなります。ニュースや映像、インタ ビューとは違う、小説ならではの伝え方は臨場感があり、防災に女性の視点が不可欠であることが実感できます。



#### ●映画に学ぶ危機管理 斎藤富雄・編/晃洋書房(2018/9)

映画が人々に与える影響は大きく、映画を観ることで直面する問題解決へのヒントを得ることがあります。この本では2016年公開の『シン・ゴジラ』を中心に、本来娯楽作品として制作された映画の数々が危機管理教材として取り上げられています。パニック映画やSF映画もあれば、事実をもとに制作されたドキュメンタリードラマのような作品もあります。それぞれの作品を防災の各分

野での第一人者が解説しています。ある人は救命の正義について、ある人は組織論からの分析、またある人はリスクマネジメントの視点からなど。一度見た作品でも、視点を変えて観ると新しい発見があって面白いと思います。

# 講座案内 12月~3月

講座はすべて

参加費・保育は無料です

申込み電話番号:0797-86-4006

情報リテラシー 受付中

12月20日(木曜日) 13:30~15:30

### 体験! 直観讀みブックマーカー ~本と人との新しい出逢い方~

直観讀みブックマーカーとは、参加者の直感や偶然で見つけた本から、趣味や世代の違いを超えた交流が生まれ る楽しいゲームです。今回は情報・図書コーナーの本を使います。とりあえず何も考えず、何も持たずに参加し てみてください。

●講師:陸奥賢さん(観光家/コモンズ・デザイナー/社会実験者)

●対 象:テーマに興味のある方 40人

●保 育:10人(1歳~就学前まで) 要予約・先着順

#### ほっとサロン わたしに戻る 映画の時間

① 12月26日(水曜日) 10:00~12:10

12月3日(月)から受付

# 「そして 父になる」 (2013年/日本/121分)

6年間大切に育ててきた息子は、他人の子だったー。病院で息子を取り違えられた二組の家族。本来の血のつな がりか、注いできた愛情、これまで共に過ごした時間をとるか。家族に起きた事件を通して「愛 絆 家族とは 何か」を問う。第66回カンヌ国際映画祭審査員賞受賞作品。(監督・脚本・編集:是枝裕和)

② 2019年1月30日(水曜日) 10:00~12:10

2019年 1月4日(金)から受付

# 「デザート・フラワー」(2009年/ドイツ・オーストリア・フランス/127分)

アフリカの貧しい家庭に生まれたワリス。13歳のとき父親にお金と引き換えに老人と結婚させられそうになっ たのをきっかけに家を飛び出し、ロンドンで孤独な路上生活を送っていた彼女は、あるとき一流ファッションカ メラマンにスカウトされ、ショーモデルへと劇的な転身を遂げる。しかし、華やかな外見とはうらはらにその胸 中には衝撃の過去が秘められていたー。

●対 象:子育て中の女性 各30人

●保 育:各15人(1歳~就学前まで) 要予約・先着順

### センターの保育について

センターでの保育は、講座やイベントなどで保育が必要な場合に、その都度保育グループの協力により運営して おり、単なる「子ども一時預かり所」ではないと考えています。

- ① 子どもを預け、預かる営みを、おとなの学習の一つととらえ
- ② 子どものよりよい仲間づくりの場であるように配慮し、おとなが協力し合い
- ③ 地域に開かれた、集団生活への導入につながるような共同保育をめざして開設しています。
- ※キャンセル・遅刻される場合は必ず連絡してください。

# 講座案内 12月~3月

講座はすべて

参加費・保育は無料です

申込み電話番号:0797-86-4006

こころとからだのリフレッシュセミナー

2019年 1月7日 (月) から受付

2019年1月31日・2月7日・14日(木曜日)全3同 14:00~15:30

# 鍼灸師が教える 身体を整える健康体操

毎日の習慣に、体操を取り入れてみませんか。身体に向き合い、今よりほんの少しでも過ごしやすくなるために。 鍼灸師の立場から、適切なアドバイスをします。運動が苦手な方、子育て中の方も、無理なく実践できる健康体 操です。

●講 師:池辺由実さん(鍼灸師)

●対 象:テーマに関心のある方 20人 ※先着順(全回出席できる方優先)

●保 育:10人(1歳~就学前まで) 要予約・先着順

女性セミナー

2019年1月4日(金)から受付

2019年2月9日・16日(土曜日) 全2回 10:00~12:00

# 年齢(とし)を撮る ~イメージとギャップを越えて~

自分の思いを写真にこめてきた糸川さんの生き方についてお聞きするとともに、糸川さんが撮った「昭和ガール ズ」のモデルになった方々に、それぞれのエピソードを語っていただきます。

●講 師:糸川祥子さん(写真家・セルフフォトセラピー講師)

●対 象:テーマに関心のある女性 30人

●保育:10人(1歳~就学前まで) 要予約・先着順

★ミニ写真展をします! 2019年1月15日(火)~2月16日(土)(フリースペース)



▲国際女性デーを記念して **エル・シネマ** 

# 上映会&監督トーク

ドキュメンタリー映画/2016年/93分 監督・撮影・編集:小森はるか

2月1日(金)から受付

# **見の** ひとりのたね屋が綴った、彼の町の物語

# 2019年 3月 9日(土) 午前・午後各1回 上映会&トーク

岩手県陸前高田市。荒涼とした大地に、ぽつんとたたずむ一軒の種苗店「佐藤たね屋」。東日本大震災の津波 で自宅兼店舗を流された佐藤貞一さんは、その跡地に自力でプレハブを建て、営業を再開した。なにやらあや しげな手描きの看板、水は手掘りした井戸からポンプで汲みあげる。いっぽうで佐藤さんは、みずからの体験 を独習した英語で綴り、自費出版していた…。

監督は、映像作家の小森はるかさん。震災のあと、画家で作家の瀬尾夏美さんとともに東京をはなれ、陸前 高田で暮らしはじめた彼女は、刻一刻とかわる町の風景と、そこで出会った人びとの営みを記録してきた。

#### ※当日は仙台から監督の小森はるかさんをお招きします!

# 親子ですごすエルズ・ルーム

#### 小さな子どもさんのためのスペース

子どもさんと一緒に情報・図書コーナーの絵本を読むなどして、ゆっくりすごしていただけます。ご利用時間内、出入りは自由です。

ご利用は保護者の方とご一緒にお願いします。

利用時間:9:00~16:00

月曜日~土曜日(※祝日はのぞく)



# 女性のための相談室

予約電話番号:0797-86-4006

電話相談	毎週 月・火・木・金曜日 10:00~12:00/13:00~16:00 直通電話:0797-86-3488
面接相談	第2・4水曜日 第1・3・5土曜日 10:00~12:50 ※要予約・相談時間は 1人 50 分
法 律 相 談	第1土曜日(原則) 14:00~17:00 < 市民対象 > ※要予約・相談時間は 1人 45 分 原則1人1回限り
起業相談	第1・3水曜日 10:00~12:00 < 市民優先 > ※要予約・相談時間は 1人 60 分
チャレンジ相談	第1水曜日 11:00〜13:50 ※要予約・相談時間は 1人 50 分

※電話相談以外はすべて保育あり(要予約) 年末年始及び祝日の全相談業務はありません。

# エル・マガのご案内

#### 男女共同参画センターの講座・イベントのお知らせ

男女共同参画センターの講座・イベントをお知らせするメールマガジンです。 登録は無料、毎月2回お届けします。以下のどちらの方法でも登録いただけます。

#### 1. 携帯電話から



左のQRコードから読み取ったアドレスに空メールを 送ってください。

#### 2. パソコンから

センターのホームページ 「情報コーナー」→「メールマガジン」 →「配信登録」

#### 宝塚市立男女共同参画センター・エル

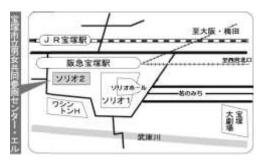
宝塚市指定管理者

NPO法人 女性と子どものエンパワメント関西 開館時間:月曜日~土曜日(9:00~21:00) 日曜日・祝日 (9:00~17:00)

休 館 日:毎月第2日曜日・年末年始

〒665-0845 宝塚市栄町2-1-2「ソリオ2」4階

TEL: 0797-86-4006 FAX: 0797-83-2424



メール: elsenternpo-empower@takarazuka-ell.jp ホームページ: http://www.takarazuka-ell.jp/

発行: 2018年11月